

令和 7 年度心のバリアフリー教室について

1. 令和7年度の取組方針

「心のバリアフリー」に関する正しい理解を効果的に伝える

2. 実施概要

日 数 1校あたり1日～
時 間 45分×3コマ(3コマ終了後に宿題あり)
実施単位 1コマ目:学級、2,3コマ目:学年(全学級同時)
実施場所 1コマ目:教室、2,3コマ目:体育館
対象学年 原則小学5年生

3. プログラム概要

(1) 学びの目的と狙い

目 的 様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことでなくせるバリアがあることを理解し、実践する気持ちを育む。

狙 い 「障がい疑似体験」や「障がい者との交流体験」を通じた障がい理解・他者理解に留まらず、コミュニケーションを取って支え合うことの大切さや障がいの社会モデルという「自身に何ができるか」について考えることを狙いとする。

「障がいのある人は思っていたより大変なことが分かりました。」

「障がいのある人と一緒に楽しく遊べて良かったです。」



「障がいの有無に関わらず、困っていそうな人がいたらコミュニケーションを取って、自分のできることで支えたいと思います。もし自分が困っていたら、人に相談したいと思います。」

「困りごとは社会の仕組みを変えることで解決できて、私にもできることがあると知りました。」

(2) 内容(案)

資料2、資料3 を参照

4. スケジュール

9 月下旬	実施校決定
10 月中旬	実施校教員へ事前レクチャー
10 月下旬～令和 8 年 3 月末	教室実施